

相愛ウィンド、今年の聞きどころ

高度なアンサンブルを得意技とする相愛大学ウィンドオーケストラ。そこにはサイトウキネンに名を残す故齋藤秀雄氏率いる相愛学園オーケストラから数十年にわたり脈々と引き継がれる精神ありきと言えようか。今年のプログラムはいずれも楽曲の持つ精神的な深さが味わえそうだ。第1部には指揮に新田ユリを迎えるカレル・フーザ「プラハのための音楽1968」ほかをお送りする。第2部では作曲家大前哲に新作を委嘱し、相愛大学教授・ティンパニ奏者中谷満をソリストに迎え初演する。第3部では相愛ウィンド定期をすでに過去5回にわたり指揮し続けてきた若林義人による「ダフニスとクロエ」第2組曲をお送りする。さらに今年も中高生に大人気、吹奏楽コンクール課題曲にはそれぞれの指揮者から自らの考えをおもいっきり繰り広げていただこう。相愛ウィンドホームページに掲載中の両氏によるコメントを読めば、どのように個性が放たれるか、これまた興味深い。

Soai
Wind
Orchestra

相愛大学ウィンドオーケストラ

すでに55年の歴史を有している「相愛オーケストラ」。1979年には管打楽器を主体とする「相愛ウィンドオーケストラ」が設立されその一翼を担うようになった。以来毎年定期演奏会を積み重ね、今回第34回目を迎える。指揮者として椿弘元教授、酒井睦雄教授が務めてきたが、2007年よりこれまでに数々のウィンドオーケストラを育ててきた若林義人氏を迎えて、豊かな表現力を備えた合奏団へと成長している。さらに今回はゲスト指揮者に新田ユリ氏を迎える。指導者として竹林秀憲(フルート)、前田昌宏(サクソフォン)、飯塚一郎(トランペット)、中谷満(打楽器)の4名の専任教授が中心となり、週2回の合奏授業を通じ、高度な合奏技術と音楽性の追求に取り組んでいる。クラシックや吹奏楽曲をアカデミックに捉える定期演奏会に加え、より洗練され明るく楽しい響きを求めるポップスコンサートを開催し吹奏楽の持つ多彩なジャンルに柔軟に対応している。



中谷 満 ティンパニ

1973年京都市立芸術大学音楽学部管打楽器専修打楽器専攻科を卒業。京都市立芸術大学で村本一洋氏(元京都市交響楽団)、卒業後山口恭範氏(元新日本フィルハーモニー交響楽団)に師事。1973年大阪フィルハーモニー交響楽団にティンパニ、打楽器奏者として入団。1977年より一年間旧西獨国立ベルリン高等音楽院に留学。その間ベルリンフィルハーモニー交響楽団首席ティンパニ奏者W.ティーリヘン氏、旧西獨国立ベルリンドイツオペラ管弦楽団首席打楽器奏者K.キースナー氏に師事。その間ベルリン放送管弦楽団、西獨ベルリンディイソオペラ管弦楽団などに出演。1978年大阪フィルハーモニー交響楽団にティンパニ、打楽器奏者として復団。大阪シュベルマー金管アンサンブルの打楽器奏者として参加。1980年より現代音楽集団「グループM」を主宰。1979年より打楽器アンサンブル「スティックス」に参加。1990年より中谷満パーカッションアンサンブル「シュレーゲル」を主宰。1995年関西打楽器協会フェスティバルにて、W.ティーリヘン作曲、ティンパニ協奏曲を作曲家W.ティーリヘンの指揮にて独奏。2010年龍谷大学吹奏楽部定期公演にて、酒井格作曲ティンパニ協奏曲をびわ湖ホールにて初演。2008年より相愛大学教授。



新田 ユリ 指揮者



指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦に師事。'90年ブザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト、'91年東京国際音楽コンクール<指揮>第2位受賞後日本国内主要オーケストラへ客演。また東京佼成ウィンドオーケストラ、大阪市音楽団、シエナ・ウィンドオーケストラへも度々客演。キングレコード、ポニーキャニオンより共演CDをリリース。00年文化庁在外研修生としてフィンランドに派遣。ラハティ交響楽団監督オスモ・ヴァンスカのもとアシスタントを務める。以後フィンランドと日本を活動の拠点とする。クオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、国防軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ、クリスチャンサン交響楽団に客演。2005年～2007年オウルンサロ音楽祭へ招聘、2006年リエクサ・プラスヴィーク客演。2005年9月にフィンランド日本友好協会よりラムステッド基金奨学生を授与。国立音楽大学非常勤講師、同志社女子大学嘱託講師、日本シベリウス協会事務局長・理事。21世紀の吹奏楽“饗宴”会員。

若林 義人 指揮者

京都市立芸術大学卒業。在学中に京都市交響楽団に入団、卒業と同時に安部賞を受賞。入団当初より龍谷大学吹奏楽部の指導に当たる。トランペットを故金石幸夫、有馬純昭、田宮堅二の各氏に師事。京都市交響楽団トランペット奏者として25年6ヶ月在籍し、2007年の3月をもって退団。2007年度より龍谷大学吹奏楽部音楽監督常任指揮者、相愛大学ウィンドオーケストラ指揮者に就任。近年は、ジャパン・プラス・コレクション、プラスパラダイス大阪、プラススカラーズ大阪等に客演指揮者として招かれ、指揮者としての活動も精力的に行っている。現在、龍谷大学学友学術文化局吹奏楽部音楽監督常任指揮者、京都市立芸術大学非常勤講師、21世紀の吹奏楽“饗宴”会員。

